



岐阜大学国際交流

NEWS Letter

44

For International Exchange
Gifu University

2018 March



留学報告会

2018年1月17日



本学の学生と教職員を対象に「留学報告会～行ってみなければわからないコト～」を開催し、海外留学制度の説明や、留学を経験した学生たちによる成果発表を行いました。

今回の報告会では8名の学生が、それぞれが留学したグリフィス大学（オーストラリア）、ソウル科学技術大学校（韓国）、アルバータ大学（カナダ）、ノーザンケンタッキー大学（アメリカ合衆国）、シドニー工科大学（オーストラリア）、バイロイト大学（ドイツ）、テュレーン大学（アメリカ合衆国）、ワグニングゲン大学（オランダ）及びルーヴァンカトリック大学（ベルギー）で2週間から1年間に経験した、現地での語学習得や異文化体験、専門分野の学習や研究について報告しました。



海外実務研修(広西大学)

10月24日～11月20日



本学の若手事務職員2名が、中国南寧の広西大学において、約3週間の海外実務研修を行いました。現地では、広報活動や留学を希望する学生への対応、要望の調査、新企画の日本語講座、アンケートの実施や分析等、様々な活動を行いました。

研修者は本研修を通し、協定校である広西大学や中国という国を五感で感じ、自身を成長させ、また、互いの大学の良好な関係を繋ぐ架け橋となりました。



外国人留学生スキー旅行

2018年2月20日・21日

留学生に係る教育活動の一環として、また留学生相互の親睦を図ることを目的に、岐阜県郡上市にてスキー旅行を実施しました。

スキーは初めてという学生が多いにもかかわらず、参加者たちはインストラクターの指導の下、積極的にスキーを学びました。2日目には多くの学生が上達し、意のままにコントロールしながらボーゲンで滑る学生もいました。

限られた時間の中でも果敢に挑戦し、滑れるようになったことでみな自信がつき、思い出に残る有意義なスキー旅行となりました。





留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会

11月2日



岐阜大学は本学の国際化を促進するため、毎年11月を「秋の国際月間」と位置づけ、様々な国際交流行事を行っています。

本月間の口切りとして、「留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会」を開催し、約130名の参加がありました。本会は立食パーティー形式で行われ、参加者らは食事や歓談を楽しみ、そして余興としてインドネシアの学生達による伝統舞踊「Pencak Silat」、バングラデシュの学生達による伝統的な歌と舞踊、本学邦楽部学生による琴の演奏等、各国の伝統文化を鑑賞しながら、互いの交流を深めました。

11月2日



留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会

11月15日



地元企業との交流会

11月16日



特別講演会

11月17日



留学生就職促進プログラム講演会



地元企業との交流会

11月15日



日本での就職を希望している留学生や、海外で働くことに関心のある日本人学生を対象とした交流会が、岐阜信用金庫との共催で開催されました。今年度で6度目となる本会の第1部では、初めての試みとなるスイーツ試食会が企画され、参加者は日本の和洋菓みに舌鼓を打ちました。第2部では、16社の企業による自社の紹介が行われ、その後各ブースに分かれ、学生と担当者が直接話をする懇談会が開かれました。

留学生就職促進プログラム講演会

11月17日



就職活動に役立つ情報を留学生に提供することを目的に、「留学生就職促進プログラム講演会～外国人留学生の採用動向及び活用事例紹介～」を開催しました。留学生人材の研究調査に携わっている三菱UFJリサーチ&コンサルティングと、留学生の採用活動に実際に携わっている㈱ナベヤによる講演が行われ、近年、外国人材の活用の中でも、特に留学生の採用への注目が高まっていることが紹介されました。



夢をかなえて 日本をエンジョイしましょう

連合農学研究科 ヨラニ シャプトリ (YOLANI SYAPUTRI)



インドネシア



日本インドネシア
国交樹立60周年



私は、サンドイッチ・プログラムという留学プログラムにより、2016年に岐阜大学にきました。知識の習得や異文化交流、日常生活での不便さなども大変良い経験となっています。このプログラムを修了後、指導教官の勧めで博士課程を受験し、今は博士課程の学生として勉学に励んでいます。

岐阜の環境や人々、文化や景色が気に入り、この岐阜大学を選び、そしてここでの生活を楽しています。素敵な研究室の仲間や親切な先生方をはじめ、多くの方々に助けられています。日本語は難しいですが、すべての経験と出会いは自分を成長させ、将来の糧となります。私はイスラム教徒ですが、行政も含めた日本の人々は、他宗教を尊重し配慮してくれるので、快適に過ごしています。

将来は日本とインドネシアのために、文化だけでなく科学や技術面でも貢献したいと思っています。今年は日本インドネシア国交樹立60周年ですが、今後の両国の関係が、政治や経済だけでなく、社会的、文化的においてもより一層深まるといいです。



特別講演会

11月16日



李賛東中国農業大学教授による特別講演会「岐阜大学留学と科学研究の基盤構築」を、岐阜大学講堂にて開催しました。李教授は昭和60年に本学大学院農学研究科家禽畜産学専攻を修了し、現在は遺伝子工学の世界的な研究者として活躍しています。講演会では、李教授が岐阜に留学したきっかけや指導教員、研究仲間との思い出、日本の素晴らしさ等が語られました。

講演会

11月24日



マレーシア国民大学と東京外国語大学講師のアズヌール・アイシャ・アブドゥッラー氏と経済産業省クールジャパン海外戦略室長の手島恵美氏による講演会「マレーシアに向けた商品設計と企業展開」を開催しました。二人の演者はそれぞれ「商品設計に欠かせないもの(文化・言語)」、「マレーシアに展開する日本企業」という題目で、具体例を交えながら、マレーシアに進出している多くの日本企業や日本製品の現状、広く受け入れられている日本のサービスや食品などについて語りました。

11月22日



外国人留学生交流
フォーラム

11月24日



講演会

11月25日



岐阜県内外国人留学生
日本語弁論大会

外国人留学生交流フォーラム 11月22日



学生に地元企業の優れた点や成長性を知らせることを目的に、「第3回外国人留学生交流フォーラム～日本企業の中にある活躍の場所～」が、十六銀行と十六総合研究所の共催により開催されました。本フォーラムでは、岐阜県内の留学生の就職状況や企業が求める人材等の報告、地元企業2社の紹介、本学を卒業し日本に就職した学生による経験談の発表や、企業の担当者を囲んでの座談会が行われました。

岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会 11月25日

岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会



「第16回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会」が、岐阜大学講堂で開催され、本学の留学生5名を含む5機関から8か国12名が出場しました。日本語による約7分間のスピーチの中で、本学からは「私が憧れる雑貨店」をテーマに発表したソン ウケンさんが優秀賞を受賞しました。今年度は学内外から76名が参加し、大会後に開催された大垣共立銀行及び十六銀行が後援する、今年度初の企業等との交流会には34名が参加しました。

日系ペルー人の夢



医学部医学科 カワイ カセダ アンドレス ヒデキ (KAWAY CACEDA ANDRES HIDEKI)



ペルー



私の名前はカワイ ヒデキといいます。ペルー出身の医者です。昨年の4月に来日し、今年の3月に帰国します。私は日系です。祖父は岐阜県で生まれ、夢を抱いてペルーに渡りました。父は岐阜県奨学金の第1期生であり、私もその制度に応募し来日しました。

日本に住む親戚と会うことができ、楽しい時間を過ごしました。ペルーと日本は遠く海で隔てられていますが、年月をかけて深い絆で結ばれた両国の代表になれたらと思います。

私は、父も学んだ岐阜大学を選びました。今、若手アスリートの病気について研究しています。日本で修士号と博士号を取得し、スポーツドクターになろうと考えています。道のりはまだまだ長いですが、再び始まる日本の旅を楽しもうと思います。



ジョイント・ディグリープログラム設置に向けた国際交流活動

- ジョイント・ディグリープログラムとは…連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が、共同で単一の学位を授与するものです。岐阜大学は、海外協定大学のインド工科大学グワハティ校(IITG)とマレーシア国民大学(UKM)とそれぞれ協働し、平成31年度に4つの国際連携専攻の開設に向け、両大学との交流プログラムを平成27年から開催しています。

第3回ウィンタースクール

12月6日～21日



第3回ウィンタースクールを、インド工科大学グワハティ校(IITG)とマレーシア国民大学(UKM)から7名の学生を受け入れ、3週間にわたって開催しました。

学生たちは研究室でのラボワークやIITGとUKMの教員による特別講義、Rice Ball Project、サバイバル日本語講座、プレゼンテーション講座、交通安全・防犯指導の講習、地域企業見学、日本文化体験等、様々な活動を行いました。



日印二国間シンポジウム

2018年2月1日～4日



インド工科大学グワハティ校にて4日間にわたって開催された「北東インドにおける生物資源利用の将来構想についての日本インド二国間シンポジウム」に、岐阜大学から11名の関係者が参加しました。

本シンポジウムでは、インドと日本の大学と研究機関及び企業が集い、生物資源や食品科学技術、バイオ産業の現状と将来展望及び国際協働教育を中軸とする両国の産学国際連携について議論がされました。



交通安全・防犯指導の講習会

12月15日



日本での事故や事件を未然に防ぐための「交通安全・防犯指導の講習会」を、岐阜北警察署の協力により開催し、9か国36名の留学生を含む52名が参加しました。この講習会は近年、日本と母国との交通ルールの違いを知らないために交通事故の被害者や加害者になったり、犯罪に巻き込まれたりするケースが増加していることを背景に企画されたもので、参加者からは、日本の道路標識や自転車の交通ルールを理解できた等の感想が寄せられました。

第5回国際ワークショップ2017

11月27日・28日



連合農学研究科は、チュイロイ大学(ベトナム)において「第5回国際ワークショップ～アジアにおける農業と水管理の最新動向～」を開催しました。ゲンカンタイ准教授(チュイロイ大学副学長)や飯田俊彰准教授(東京大学)による基調講演をはじめ、チュイロイ大学やダッカ大学(バングラデシュ)、スプラ・マレット大学(インドネシア)、ランボン大学(同)、(株)三祐コンサルタンツ及び岐阜大学の研究者らによる研究紹介が行われ、総勢54名の参加者は、活発な意見交換と研究交流を行いました。

